



聖徳学園創立80周年記念 大山忠作 作品 展

ご あ い さ つ

東京聖徳学園は、昭和8(1933)年、東京市大森区(現大田区)新井宿に聖徳家政学院と新井宿幼稚園を開設し、今年で創立80周年を迎えます。

本学園ではこのほど、平成22(2010)年まで歌舞伎座で使用されていた三張りの^{どんちよう}緞帳を、聖徳大学、同附属女子中学校・高等学校及び同附属取手聖徳女子中学校・高等学校の各体育館に移設、保存することになりました。

これらの緞帳は、日本画家を代表する^{おおやまちゆうさく}大山忠作、^{ひらやまいくお}平山郁夫並びに^{うえむらあつし}上村淳之各画伯の原画を基に、京都の職人が日本の伝統工芸である綴織(つづれおり)により製作した優れた芸術作品です。このような芸術作品を永く後世に残すことは、本学園にとって大変意義深いものと思います。

本特別展覧会は、聖徳学園創立80周年を記念して開催するもので、聖徳大学体育館に移設した緞帳「朝陽の富士」の原画の作者である大山忠作画伯の作品を展示します。

大山画伯は、高い描写力で人物、花鳥、風景などの題材に取り組みまれた日本画家であり、日展理事長、会長などを歴任され、平成18(2006)年には文化勲章を受章されました。

現代日本画壇の重鎮として活躍された大山忠作画伯の幽玄・華麗な世界をぜひご堪能ください。

平成25年4月27日

学校法人東京聖徳学園理事長
聖 徳 大 学 学 長
聖 徳 大 学 短 期 大 学 部 学 長
学 園 長 川 並 弘 純

大山忠作作品展 展示作品

「金 鱗」(本画／20号)
 「富士越龍」(本画／20号)
 「 桜 」(本画／扇面・8号)
 「桔 梗」(本画／扇面・8号)
 「海 老」(本画／扇面・8号)
 「花 菖 蒲」(本画／扇面・8号)
 「葡 萄」(本画／扇面・8号)
 「わ ら び」(本画／扇面・8号)
 「落 葉」(画賛／扇面・8号)
 「お か め」(画賛／扇面・8号)
 「 椿 」(墨・淡彩／4号)
 「竹 林」(墨・淡彩／4号)
 「わ ら び」(墨・淡彩／4号)
 「春 ら ん」(墨・淡彩／4号)
 「青 オ ニ」(墨・淡彩／4号)
 「印度婦人」(デッサン／43×30 cm)
 「 泳 」(鯉魚絵付飾大皿／φ42.5 cm)

大山忠作画伯 プロフィール

大正11(1922)年5月5日、福島県二本松市根崎に生まれる。二本松第二尋常高等小学校卒業後に上京、東京美術学校(現・東京芸術大学)で日本画を学ぶ。日本画研究団体「一采社」に参加、山口蓬春に師事し、日展を主な舞台として、人物から宗教、花鳥、風景画まで幅広い題材の作品を発表。代表的な業績として、法隆寺金堂壁画再現模写への参加、日本芸術院賞受賞作「五百羅漢」、成田山新勝寺光輪閣襖絵「日月春秋」28面などが挙げられ、日展においても、理事長、さらには会長としてわが国の芸術文化の振興・発展に尽力された。平成18年に文化勲章を受章。平成21年2月19日、86歳で逝去された。

[参 考] 聖徳学園に移設された旧歌舞伎座の緞帳



第一緞帳「朝陽の富士」(原画：大山忠作)

移設場所：聖徳大学(体育館)



第二緞帳「朝日桜」(原画：平山郁夫)

移設場所：聖徳大学附属女子中学校・高等学校(体育館)



第四緞帳「月明の汀」(原画：上村淳之) 移設場所：聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校(体育館)

会 場：聖徳大学8号館 利根山光人記念ギャラリー

会 期：平成25年4月27日(土)～5月31日(金) [休 館：毎日曜・祝日と学事日程による休業日]

開館時間：午前9時～午後5時

[問合わせ] 聖徳大学川並弘昭記念図書館

Tel: 047-365-1111(大代)

<http://www.seitoku.jp/lib/>